

2016年度 幾何入門「授業改善のためのアンケート」集計結果(6/10時点)

担当：境 圭一

「授業改善のためのアンケート」に、6/10時点で36名の方から回答をいただいています。ありがとうございます。結果は以下の通りです。

(1) 全体的に見て、この授業の内容は、授業によって達成しようとしている目標に、ふさわしいものである

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
2 (6%)	0	0	13 (36%)	21 (58%)

(2) この授業はシラバスから大幅に逸脱することなく実施されている

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
2 (6%)	0	1 (3%)	14 (39%)	19 (53%)

(3) この授業では、理学部のカリキュラム全体の教育目標に沿った授業内容が提供されている

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
2 (6%)	0	2 (6%)	13 (36%)	19 (53%)

(4) 参考書の提示など、この授業のための時間外学習の情報提供・指示が、シラバスや授業中の説明等と与えられている

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
2 (6%)	1 (3%)	5 (14%)	14 (39%)	14 (39%)

(5) この授業の達成目標である、探求の仕方・姿勢、知識や技術などを、あなた自身は獲得できると思う

1. 全くそう思わない	2. そう思わない	3. どちらともいえない	4. そう思う	5. 強くそう思う
3 (8%)	2 (6%)	4 (11%)	15 (42%)	12 (36%)

(4)の結果はよく受け止めたいと思います。皆さんも感じている通り、内容が難しいので、自習するための問題を作るのもなかなか難しいというのが正直なところです。何かしら検討します。

自由記述に書いていただいた意見の一部を挙げておきます。

- 「演習の解答も一緒にHPにアップしてほしい」という要望がありました。これはいつもある要望ですが、あまり好ましいこととは考えていません。最も懸念することは、意味を理解せず暗記しようとする学生が増えることです。
演習やレポートの問題については、まず学生自身が考えて答案を作ってみてほしいと思います。そうすることで、わかっているところとそうでないところが明確になります。考えてもわからないところは、質問をしなければなりません。まずは周りの友人と議論してみてください。わからない点を説明してみると、説明している途中でやり方をひらめいたりします。議論しても解決しないときは教員も巻き込んで議論すればよいわけですが、しづらいこともあるかもしれません。そんなときのためのTAだったり、サイエンスラウンジだったりするわけです。
- 「物理的に意味を考えるのはわかりやすくおもしろい」という感想をいただきました。教科書に従ってそのようにしているのですが、実は悩ましいところでもあって、直感的にわかりやすい説明は、いざ問題を解こうとするときにやるべきことを教えてくれなかったりします。「だいたいこういう感じだ」という理解の仕方も、厳密な議論を通した理解も、両方が大事です。
- 「TAの教え方がわかりやすい」という感想をいただきました。境が毎回の演習問題をTAに渡すのは水曜だったり木曜だったりすることもあり、短い準備時間で無茶をさせていますが、よくがんばってくれています。感謝しましょう。

- 「図を使った説明がわかりやすい」という感想をいただきました。絵心があるとは言いがたいので、もうちょっと工夫します。

絵を描けるというのは幾何学では大事なことです。芸術的な絵を描く必要はありません。幾何学的なセンスが育った人の描く絵は、たいてい要点がきちんと押さえられているものです。そんな絵を描けるようがんばってみてください。

- 「板書がわかりやすい・字が読みやすい」という感想をいただきました。書いている本人としてはむしろ逆のことをいつも感じていて、申し訳ない気持ちでいっぱいです。なるべく見やすい板書を目指します。
- 「授業中うるさい人への注意をもう少し強めにしてください」という要望がありました。そのようにしたいと思います。

どこかの(信大でない)大学の先生が次のようなことをツイートしていました。私語に対する注意というのは、どうしてもいくらか語気が強まってしまうわけですが、強い口調というのは、たとえ自分に向けられたものではなくても、気分のよいものではありません(その先生は「罪のない学生を傷つけてしまう」という言い方をしていたように思います)。境も学生時代には確かにそういうふう感じたことがあるような気がします。

注意しなければうるさくて周りに迷惑だし、注意すれば上記のようなことがあるので、どっちにしても誰かが嫌な思いをするわけです。大学の講義に限った話でなく、静粛にすべき公共の場で私語をする人は一定数いるわけですが、その人たちはそういったことに思い至っているのでしょうか。

- 「試験時間の延長などがあるとありがたい」という要望がありました。もちろんそういうわけにはいきません。試験に時間制限はつきものです。

全体的に好意的な意見を多くいただきました。ありがとうございます。

アンケートに期限は設けませんので、今後も意見・要望などをいただけましたら幸いです。(1)~(5)の質問は大して検討せず昨年度のものを流用しただけで、書いてほしいのはむしろ自由記述欄のほうです。意見を表明できる機会はそう多くないかもしれないので、こういう機会は逃さないようにしてください。提出した後で書きたいことを思いついた人は、追加で提出していただければと思います。

(6/10)